

society&business Tokyo25 journal 25journal

執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

羽村市のご当地ソング「羽衣の堰」(藤澤昌一詞、岡村信良曲)の曲に乗せ、玉川上水を空から追った動画が公開された。画像製作したのはあきる野市在住で檜原村松姫研究会に所属する森

「羽衣の堰」の曲に乗せ 玉川上水を空から追う



1653年(承応2年)に多摩川の羽村堰から四谷大木戸までの高低差92・3分の間に全長42・74キロで築かれ、江戸市中へ飲料水を供給してきた。一部区間は現在でも都水道局の水道施設として活用されている。

BGMで使った「羽衣の堰」は民謡歌手の伊庭末雄さん(ソニー)らの歌唱で2006年に発表された。その後、羽村市で「羽衣の堰」歌謡コンテストが行われ、歌謡ファンの中で歌い継がれてきた。デジタルアースを巧みに使ったダイナミックな映像と共に「羽衣の堰」の曲がフルバージョンで楽しめる。

森下さんは「作詞の藤澤氏は私の友人。昨年11月に亡くなり、1周忌の供養も兼ねて製作した。空から藤澤氏も見ていてくれると思う」と話している。

展示は昨年に次いで西多摩地区小学生「税を考える週間」書道展に合わせ展示された。羽村市立富士見小5年の小松凜士さんの「消費税 だれもができる

税への関心を高める活動推進 消費税 だれもができる第一歩 ぼくもわたしも納税者」の優秀作品展示会

税会主催、田村実会長が11月12日から3日間、イオンモール日の出イオンホールで開かれ、応募2313点から選ばれた入賞作品30点が展示された。訪れた人たちは「なるほど」とうなずきながら、税への関心を高めていた。

展示作品を前に消費税の大切さを伝える田村会長(左)と新井敏行副会長

税への関心を高める活動推進 消費税 だれもができる第一歩 ぼくもわたしも納税者」の優秀作品展示会

霞川が児童小説の舞台に

「かすみ川の人魚」 著者は長谷川まりるさん

青梅市を東西に流れる霞川が児童小説の舞台になった。物語は、同市立第四小学校周辺や風の子・太陽の子広場などと思われる景色の中で展開され、地元を知る人は引き込まれる読み進んでしまう。小説は11月24日に講談社が発行した「かすみ川の人魚」II写真。著者は長谷川まりるさん。イラストレーターは吉田尚令が挿絵を担当している。どこか



あの日、ぼくは、秘密と友情、どっちを守りたかったんだろう？

長谷川さんは1989年生まれ。作者の年齢から推測する、と2000年前後の水の質の改善に向き出した霞川を思い描いて書かれたのだろう。主人公は、学校近く、つしよに、その人魚を

大塚山の池でこっそり飼うことに。それから人魚の「かすみ」と、主人公たちの物語がはじまったが、かすみはとんでもない事件を引き起こしてしまった！

印刷・デザイン制作・ホームページ制作 Bikoh Printing Design
企画からデザイン、印刷まで一貫して行えます。
創造をカタチに 美光印刷株式会社
〒198-0024 東京都青梅市新町 9-2183-5
Tel.0428-30-5433 Fax.0428-31-2680
Mail.bikoh306@css-office.com 担当：加羽澤(かばさわ)
https://bikoh.tokyo/

職人技のネットワークで 快適な生活空間を造ります
総合建設業 東京都知事許可 第77829
須崎士建
〒198-0014 青梅市大門 2-360
☎0428-31-1432 fax0428-31-5731